

## 新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年2月9日（火）

午前10時00分 開会

午前11時30分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（12名）

委員長	呉屋 等
委員	伊佐文貴
委員	上里広幸
委員	濱元朝晴
委員	知念秀明
委員	桃原 朗

副委員長	伊佐哲雄
委員	又吉 亮
委員	宮城 力
委員	宮城 司
委員	屋良千枝美
委員	伊波 一男

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

○ 参考人（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

主任主事	渡嘉敷真
------	------

○ 協議案件

議員研修について

今後の日程について

# 新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

令和3年2月9日（火）

○**呉屋等 委員長** ただいまから新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

---

## 【協議事項】

議員研修について

- 呉屋等 委員長** 議員研修の内容について、各会派から報告を頂いたが、まず、講師の提案がある会派から御意見を伺いたい。
- 知念秀明 委員** 千葉大学大学院医学研究院特任教授の関根章博先生を推薦したい。先生の紹介については別紙を参照していただきたいが、那覇空港で行っているPCR検査にもアドバイスをなさっている方である。
- 伊佐文貴 委員** 沖縄県医師会理事の玉城研太郎先生を推薦したい。玉城氏は、昨今、宮古島でクラスター感染が発生した際も現場に出向いており、現状をお聞きするには適任な方と考える。
- 呉屋等 委員長** 本来、議員研修は会派から開催要求を行い、各派代表者会議に諮って開催するものであるが、今回は特別委員会からの開催要求となっている。通常とは異なる形式であるため、今回限りとするべきであると考え。今回の研修には2名の講師が推薦されていることから、研修を2部制とし、2名の講師から講話を伺う方式といずれか1名に絞る方式の2通りが考えられるが、各委員から御意見を伺いたい。
- 濱元朝晴 委員** 研修の時間はどのようになるのか。また、予算に余裕はあるのか。
- 議会事務局** 予算については問題ない。2部制とする場合は各講師の講話は45分、質疑応答は各15分程度が想定される。1名の講師の場合は60分～90分の講話に30分程度の質疑応答となる想定である。
- 濱元朝晴 委員** 専門分野が異なるため、2名から講話を伺ったほうが有意義な研修となるのではないか。
- 伊波一男 委員** 専門分野によって見方も異なるため、2名の方からお話を伺ってはどうか。
- 伊佐哲雄 委員** どこまで専門的な意見を求めるかであるが、難しい内容になりすぎると混乱を来さないか懸念がある。また、2名に依頼した場合、それぞれの講師に

対して失礼にはならないか。1名の講師に絞って研修したほうがよいと考える。

- 宮城司 委員 関根先生について伺いたいが、沖縄県在住の方なのか。研修を行うに当たり、来庁していただけるのか確認したい。
- 知念秀明 委員 千葉県と沖縄県を行き来されている状況である。研修の日程調整が難しいようであれば、今回は伊佐委員から提案のあった玉城先生にお願いしてもよいと考えている。
- 伊波一男 委員 今後、ワクチン接種が本格化してきた際に市民からの問合せも増えてくると考える。本委員会に所属する委員として、しっかりとした知識を持って市民の不安に答えていく必要があると考える。講師については、いずれも専門的な知見をお持ちであるため、委員全員が同意できる提案に賛成したい。
- 伊佐哲雄 委員 今回、結・市民ネットワークでは研修に関する提案を行っていないが、会派の話し合いでは県立中部病院の高山先生を推す声もあった。しかし、前回お名前が挙がった玉城先生は十分な知識をお持ちであり、あえて別の方を推薦する必要はないということで今回は提案を見送った経緯がある。よって、玉城先生に講話をしていただきたいと考える。
- 桃原朗 委員 今回は玉城先生に講演していただき、さらなる研修が必要と判断した場合は関根先生に依頼することとしていただきたい。先ほど委員長からは今回限りのお話があったが、コロナウイルス感染症そのものが異例のことであるため、それに対応するためということであれば異例の対応も仕方ないのではないかと。
- 上里広幸 委員 日程に余裕もないことから、まずは確実に研修を行える方に依頼してはどうか。
- 知念秀明 委員 関根先生を提案したが、今回は確実に研修を行える玉城先生からお話を伺うことでよいと考える。
- 屋良千枝美 委員 前回、玉城先生にお声掛けしていることもあり、同氏に依頼してはどうか。必要に応じて関根先生からも御見解を伺う場も検討したい。
- 宮城力 委員 屋良委員と同意見である。
- 又吉亮 委員 個人的には両氏から講話を伺いたいが、今回は確実に研修を行うため、玉城先生にお願いしていただきたい。
- 呉屋等 委員長 今回の研修の講師は玉城研太郎先生に依頼してよいか。  
(「異議なし」という者あり)
- 呉屋等 委員長 次に、研修の内容について御意見を伺いたい。提出されている資料に各会派で取りまとめた研修で伺いたい項目が記載されているが、ほかに追加したい内容はあるか。
- 上里広幸 委員 健康推進部からワクチン接種に関する現在の状況を伺った上で研

修に臨みたい。

○伊佐哲雄 委員 副反応について懸念している市民も多いと考えるため、専門家からの見解を伺いたい。また、インターネット等で様々な情報が飛び交っており、接種控えが懸念されるが、それに対する対策も伺いたい。

○呉屋等 委員長 ただいま提案があった内容を含めて委員長、副委員長及び事務局で取りまとめて研修の内容を決定してまいりたいが、よろしいか。

(「異議なし」という者あり)

○呉屋等 委員長 次に、研修の日程について御意見を伺いたい。

○知念秀明 委員 日程案はないのか。

○議会事務局 委員長から指示を受け、国の補正予算(第3号)に関する市の対応について確認したが、国から詳細な情報が下りてきていないとのことである。政策提言までの期限が見えないことから日程案が作成できていない状況である。

○呉屋等 委員長 2月26日から3月定例会が始まるが、それまでには政策提言を手交したほうがよいと考えている。定例会中は各常任委員会の審査も行われるため、特別委員会を開くことは難しくなる。また、当局が政策等を固めてしまった後で提案しては効果がないと考える。今回の議員研修を政策提言に反映させるためのものとするのかによって研修の日程が決まってくる。まず、今回の研修は政策提言に反映させるものとしての認識でよいか確認したい。

(「はい」という者あり)

○呉屋等 委員長 3月定例会までに政策提言を行うということでよろしければ、それに応じたスケジュール案を作成し、次回提案したい。

○又吉亮 委員 ワクチン接種については、今月から医療従事者への接種が開始される見込みである。その後、市民への接種が本格化するに当たっての提案であれば急いで定例会前に行うのではなく、しっかりと調査した上で行ってもよいのではないかと。また、国の補正予算(第3号)に関する提案を行うにしても、急いで提案するのではなく、執行残が発生した際に生かせる提言を目指すのもよいのではないかと。定例会前に政策提言を行うのであれば、その前に議員研修を開催する必要がある、全てが足早になってしまうのではないかと。

○伊波一男 委員 本日で研修の日程まで決定していただきたい。先方にも都合があることから、調整の必要があれば委員長、副委員長及び事務局に任せたい。政策提言については、早急に行うというより、当局の政策に偏りがあればそれを指摘する提言にすべきと考える。当局も関係機関からしっかりと聴取した上で政策を練っていることから、あまり議会が先走りしすぎないほうがよいのではないかと。

○呉屋等 委員長 それでは、議員研修の日程について伺いたい。

- 上里広幸 委員 日程案を提示していただいたほうが決めやすいのではないか。
  - 伊波一男 委員 日程や内容等が委員会で決定した後、各派代表者会議を開く必要があるか。
  - 議会事務局 各派代表者会議に内容を報告する必要がある。
  - 伊波一男 委員 15日から19日までの間で研修を行う方向で先方と調整していただきたい。
  - 呉屋等 委員長 定例会関連の日程も始まるため、先方の予定も伺いながら来週15日から19日までの間で開催できるように調整したいが、よろしいか。  
(「異議なし」という者あり)
- 

### 【協議事項】

今後の日程について

- 呉屋等 委員長 次回の委員会日程について決定してまいりたい。
- 伊佐哲雄 委員 12日は参加できない。
- 又吉亮 委員 15日と17日は外していただきたい。
- 伊波一男 委員 16日に開催してはどうか。
- 呉屋等 委員長 次回は16日の午前10時から開催してよいか。  
(「異議なし」という者あり)
- 呉屋等 委員長 次回、健康推進部からワクチン接種に向けた取組についての現状を伺いたいと考えているが、よろしいか。  
(「異議なし」という者あり)
- 呉屋等 委員長 加えて、政策提言までのスケジュール案についても提案したい。
- 桃原朗 委員 政策提言を前提に委員会を開催するのか。本委員会はコロナウイルスについて腰を据えて勉強するもので政策提言ありきのものではないとの認識である。これまで提言等を行ってきたが、毎回急ぎ足で行っている印象である。次年度執行予定の事業に対する提言はじっくりと腰を据えて行ってほしい。この件について各委員から御意見を伺いたい。
- 又吉亮 委員 政策提言をゴールに設定することには反対ではないが、国の補正予算(第3号)に関する提言を行うためには、定例会が始まる前に手交する必要があるということによいか。
- 呉屋等 委員長 現在調査中であるが、当局が当初予算に含めてくるのか、年度が始まってから補正予算として議会に諮るのかによってスケジュールは変わってくるとい認識である。政策提言は適宜、必要な時に行うものであり、1回限りではない

ということに留意していただきたい。例えば、ワクチン接種に関する提言を6月に行っても時機を逸してしまう。今回はワクチン接種に絞った提言にするなど、必要に応じて行うことも考えられる。

○又吉亮 委員 提言を適宜行うことについては賛成である。国の補正予算（第3号）に関する提言を行おうとする場合、市が当初予算を議案として提出する前に提言する必要があるため、日程として厳しいものになってしまう懸念がある。私としては、当初予算に対する提言ではなく、腰を据えて次年度の政策提言を考えていくほうがよいと考える。

○伊波一男 委員 次回の委員会では政策提言の委員長案を提出するのか。

○呉屋等 委員長 次回の委員会では、健康推進部からの説明聴取と今後のスケジュール案を提出し、各委員からの意見を伺いたいと考えている。当局の動きを見ながら政策提言の時期について検討したい。

○伊波一男 委員 県へ意見書を提出したが、市に提言する内容も含まれており、また、これまで聴取した団体等の意見もさらに反映できると考える。意見書の内容を活用した提言を早急にまとめるべきと考える。

○上里広幸 委員 常任委員会の審査や本会議での新年度予算審議に影響はないのか。

○議会事務局 あくまでも政策提言であり、予算執行権は市長にあることから、提言することに問題はないが、定例会中に特別委員会を開催した場合、常任委員会と所管が重なる部分も多いことから、混乱が生じる懸念はあると考えている。

○伊波一男 委員 まずは、県に提出した意見書の内容を精査して政策提言を行い、定例会が終了した段階で提言に不足があると判断した場合はさらに提言を行えばよいのではないかと。

○呉屋等 委員長 次回の委員会では当局の動きに応じて定例会の前に提言する場合と定例会後に提言する場合に分けて2つのスケジュール案を提出してまいりたい。

（「異議なし」という者あり）

---

○呉屋等 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻（午前11時30分）